

平成29年度実施「第六次千葉県障害者計画策定に向けた関係団体からの御意見・提案等」

NO	団体名 委員氏名	第六次千葉県障害者計画に期待すること 本部会、入所部会委員御意見・提案等	「第六次計画に期待すること」の、「第五次計画」での関係施策	意見等の 関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①「内閣府障害者基本計画案」に施策の位置付けがある。 ②「厚生労働省障害福祉計画基本指針」に施策の位置付けがある。 ③「第五次千葉県障害者計画」に位置付けがあり継続すべき施策。 ④議会答弁や団体要望の回答などで「県として取組むこととしている。」 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を専門部会で検討。	第六次千葉県障害者計画「取組みの方向性」に位置付けることを検討するための方針等【区分】 ①位置付けを検討する。（取組みの方向性案） ②計画への書込みはしない。（対応の方針）
1	千葉県手をつなぐ育成会	○計画の理念を具現化するためには、「第六次千葉県障害者計画」を基本から考え直して計画を策定し、その進捗管理においては、数値目標だけでなく内容に重きを置いた仕組みづくりが必要です。 ○「入所ありき」ではなく、「地域生活ありき」での計画策定を進めてもらいたい。	第1部「総論」Ⅰ障害者計画の目指すもの3計画の基本理念と目標 第五次千葉県障害者計画では「障害者基本法のもと障害のある人がその人らしく暮らせる社会の構築を目指します。」	障害者福祉推進課 共生社会推進室（計画）	○入所・地域	③県障害者計画（第1部総論）	前段区分①国の新たな障害者基本計画、障害者総合支援法に基づく基本指針に即して見直しを行い、進捗管理については数値目標のほか、取組の方向性の進捗状況等について、評価・検討を行います。 後段区分①主要施策な施策の第1番目に「入所施設等から地域生活への移行の推進」をかかげています。
2	千葉県手をつなぐ育成会	○住まいの場として、重度者のグループホームの拡充が喫緊の課題です。また、家族との暮らしを長期に支える福祉として、身近な地域における単独型短期入所が必須です。そして、短期入所のあり方として利用の間に利用者の地域生活を整えることが必要ですので、それが可能となる仕組みを検討することが必要です。	Ⅰ入所施設から地域生活への移行の推進(5)入所施設の有する人的資源や機能の活用③障害程度の重い人や、医療的ケアを必要とする人など入所による支援が必要となる人のサービス提供に不足が生じないよう、グループホーム等での生活が可能の人については、障害者支援施設（入所施設）からの地域移行を推進します。また、医療的ケアが必要な障害程度が重い人等を受け入れる短期入所事業所の拡充に努めます。	障害福祉事業課 事業支援班	○入所・地域	③県障害者計画37頁	区分①1ー（4）重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進において、地域生活支援拠点の整備の促進や短期入所事業所をはじめとする日中活動の場の整備を促進することとしております。
7	千葉県手をつなぐ育成会	○自閉症特性や思春期・更年期・老化等での不適切な支援じゃ受けられなかったために、行動障害を抱えてしまう方が後を絶ちません。市内での受け皿がないために、遠方の入所施設を頼らざるを得ない話も後を絶ちません。自閉症等への支援方法・仕組みを確立し、実際に支援する人材、連携ネットワークを作る必要があります。「療育センター」または「発達障害者センターの強化・複数設置が」成人にも必須だと思います。	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進①発達障害、高次脳機能障害については、県としての広域的な専門支援拠点における支援の拡充やバックアップ体制を整えつつ、市町村においても相談支援に対応できるような体制の整備を引き続き推進するため、地域における専門性の高い人材の育成や、県内拠点及び地域内の関連支援機関とのネットワーク構築に取り組みます。	障害福祉事業課 地域生活支援班	○入所・地域	③県障害者計画89頁	区分①発達障害のある人が可能な限り身近な地域で必要な支援が受けられるよう、千葉県発達障害者支援センター（CAS）を拠点として、市町村・事業所等のバックアップや専門性の高い人材の養成を目的とした研修等を行うとともに、地域支援マネージャーの配置などを含めた地域支援機能の強化等について発達障害者支援地域協議会において検討を行います。
8	千葉県手をつなぐ育成会	○障害者の地域福祉に携わる支援者の人材確保と育成の施策を、行政の責任で行うことに取組むことが必要です。民間法人の努力だけでなく、県として、障害のある人の暮らしを共に考え支え合う県民文化作りが必要だからです。	8その他の視点から取組むべき事項、（1）人材の確保・定着	障害福祉事業課 地域生活支援班 健康福祉指導課	○入所・地域	③県障害者計画95頁	H28ヒアリングNo21で同種意見整理済み （区分①国に対する要望を継続することを位置付け）
9	千葉県手をつなぐ育成会	○高齢化に特化した障害者施策を項目立てする必要があります。親亡き後の住まいの場（GH、一人暮らし）の整備とそれを支える仕組みを重点施策に。軽度の方が高齢化を迎えるため丁寧な相談支援が必須です。	8その他の視点から取組むべき事項、（2）高齢期に向けた支援	障害福祉事業課 地域生活支援班 高齢者福祉課	○入所・地域	③県障害者計画98頁	区分①「高齢期に向けた支援」の項目において、住まいの場についての検討や、サポート体制づくりの取組を記載しています。
10	千葉県手をつなぐ育成会	○医療関係・介護保険との連携を行政主導で、進める取組が必要です。	8その他の視点から取組むべき事項、（3）保険と医療に関する支援	健康づくり支援課 健康福祉政策課	○入所・地域	③県障害者計画100頁	区分①障害福祉と高齢者福祉の垣根を越えたトータルサポート体制づくりや適切な医療サービスを提供できる体制づくりへの取組を記載しました。
11	ちば高次脳機能障害と家族の会	○千葉県内は広域にわたっている。現在の高次脳機能障害の3支援拠点機関では十分カバーしきれない地域は、遠隔のため当事者・家族の負担が大きい（例：印西、香取海浜地区等）。このような地域に支援拠点機関がそれに準ずる相談支援事業所の設置を要望したい。	5障害のある人の相談支援体制の充実、（1）地域における相談支援体制の充実、⑨（前略）高次脳機能障害のある人については、地域における相談支援体制の整備を推進し、地域における専門性の高い人材の育成や、県内支援拠点機関及び地域内の関連支援機関とのネットワーク構築に取り組みます。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 地域生活支援班	○相談支援 ○入所・地域	③県障害者計画72頁	区分①「高次脳機能障害及びその関連障害のある人に対しては、3か所の支援拠点機関を中心に、高次脳機能障害に対する理解の普及・啓発を図るとともに、早期に専門的な相談支援に繋がるよう地域におけるネットワークの拡大・強化に取り組みます。」

NO	団体名 委員氏名	第六次千葉県障害者計画に期待すること 本部会、入所部会委員御意見・提案等	「第六次計画に期待すること」の、「第五次計画」での関係施策	意見等の 関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①「内閣府障害者基本計画案」に施策の位置付けがある。 ②「厚生労働省障害福祉計画基本指針」に施策の位置付がある。 ③「第五次千葉県障害者計画」に位置付があり継続すべき施策。 ④議会答弁や団体要望の回答などで「県として取組むこととしている。」 ①から④に該当するものは「 <u>取組みの方向性への位置付</u> 」を専門部会で検討。	第六次千葉県障害者計画「取組みの方向性」に位置付けることを検討するための方針等【区分】 ①位置付けを検討する。（取組みの方向性案） ②計画への書込みはしない。（対応の方針）
13	ちば高次脳機能障害と家族の会	○高次脳機能障害の原因となる持病の治療、手術等を行う医療機関の協力を求めるなどして高次脳機能障害の実態把握に着手することを要望する。	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進、④（前略）各支援拠点機関と連携しながら高次脳機能障害のある人の実態の把握や就労定着に繋がるよう就労支援の方法等について検討します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画89頁	区分②高次脳機能障害の実態把握については、高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会において検討することとしています。
15	ちば高次脳機能障害と家族の会	○高次脳機能障害者と家族に対する長期にわたる支援策の検討をお願いしたい。高次脳機能障害は事故・病気による発症から身体・言語・日常生活・社会生活・就労訓練等長期にわたるリハビリが必要とされる。当事者・家族は経済的・精神的な負担も多い。中には高齢の父母の介護と現役世代の当事者の介護を熟年の夫婦が負担する例も増えてきた。当事者も高齢化し65歳時点での障害福祉サービスの適用から介護サービス適用への変化もある中で、医療・福祉・行政の連携のもとに息長い支援体制の整備を要望する。	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進、④高次脳機能障害のある人に対する支援について、各支援拠点機関の支援者の育成や地域連携の構築により支援体制を強化するとともに、高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会等を通じて、各支援拠点機関と連携しながら高次脳機能障害のある人の実態の把握や就労定着に繋がるよう就労支援の方法等について検討します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班 障害福祉事業課 地域生活支援班	○入所・地域	③県障害者計画89頁	区分①第5次計画から引き続き、「高次脳機能障害のある人に対する支援について、各支援拠点機関の支援者の育成や地域連携の構築により支援体制を強化するとともに、高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会等を通じて、各支援拠点機関と連携しながら高次脳機能障害のある人の実態の把握や就労定着に繋がるよう就労支援の方法等について検討します。」
16	ちば高次脳機能障害と家族の会	○地域連携について、実効が感じられないため、平成29年5月24日「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」に基づく早期実施が望まれる。	8その他の視点から取組むべき事項、（3）保健と医療に関する支援、④（前略）千葉県地域リハビリテーション協議会等を活用し、関係機関に広く意見を求め、地域リハビリテーション支援体制の整備を推進します。	健康づくり支援課	○入所・地域	③県障害者計画100頁	区分①・引き続き、千葉県リハビリテーション支援センターを県内に1か所及び地域リハビリテーション広域支援センターを二次保健医療圏ごとに1か所設置し、これらの支援センターと職能団体及び行政機関等が、共通の理念のもと連携を強化し、関係機関に対する支援を充実させることにより、地域リハビリテーションのさらなる推進を図ります。 ・また、地域組織や市町村等との協働により、地域住民の日常生活・活動に密着した地域リハビリテーションを推進します。
17	ちば高次脳機能障害と家族の会	○「千葉県高次脳機能障害支援事業ネットワーク連絡協議会」は毎年度1回開催されているが、年度2回開催を要望する。年度当初に当該年度の事業目標と予算を示し、年度末には実績評価と課題を検討するなどしてほしい。また、構成メンバーについて、高次脳機能障害家族会は1家族会のみが委員となっているが、県内の5家族会全てに参加させ、各会から要望を出せるようにしてほしい。	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進、④高次脳機能障害のある人に対する支援について、（中略）高次脳機能障害ネットワーク連絡協議会等を通じて、各支援拠点機関と連携しながら高次脳機能障害のある人の実態の把握や就労定着に繋がるよう就労支援の方法等について検討します。	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画89頁	区分②高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会の運営方法については、同協議会において協議することとしています。
18	ちば高次脳機能障害と家族の会	○千葉県リハビリテーションセンターの建て替えを含めた施設整備	1入所施設から地域生活への移行の推進、（6）県立施設のあり方 ○千葉県千葉リハビリテーションセンター ②施設の整備については、施設の老朽化への対応と併せ、県民からの高いニーズに十分に対応できるよう、県立施設としての役割を維持・強化する視点から、施設整備のあり方を検討します。	障害福祉事業課 県立施設改革班	○入所・地域	③県障害者計画41頁	区分①千葉県リハビリテーションセンターは、引き続き、県立施設として、重症心身障害の状態にある人（子どもを含む）、また脊髄損傷、高次脳機能障害等の重度の障害のある人に対し、民間施設では対応が難しい高度な医療的ケアから、リハビリテーション、社会復帰に向けた就労支援等の福祉的支援に至るまでの総合的な機能を担います。また、県内の民間リハビリテーション施設に対して技術的な助言や医師の派遣等の支援を行うなど、中核的センターとしての役割も担います。千葉リハビリテーションセンターが、こうした県立施設としての機能・役割を果たし、増加する県民ニーズにこたえるためには、高度な医療的ケアが必要な利用者のための医療機能や個々の障害の状態に対応したリハビリ訓練機能の充実などが求められます。このため、施設の整備方針について関係機関や有識者等の意見を聞きながら検討を行い、県民からの高いニーズに対応できる施設の整備に取り組みます。
19	ちば高次脳機能障害と家族の会	○てんかん治療を専門とする病院は静岡県に1件だけとされている。地域でその人らしく暮らすためには医療支援が欠かせない。千葉県でもてんかんに対応できる病院の建設などの検討が必要。また、事故や病気の後遺症に起因する身体・頭の痛みを治療できる医療機関の建設が必要。	8その他各視点から取り組むべき事項（3）保健と医療に関する支援	精神保健福祉推進班	○入所・地域		区分②千葉県においても、てんかん治療を専門的に治療している医療機関があることから、これらの医療機関を中心とした広域的な医療ネットワークをつくり、身近な地域の医療機関で治療を受けられる体制づくりを目指します。 また、事故等の後遺症治療については、高次脳機能障害支援拠点機関の3病院を中心として、今後も取り組んでいきます。
22	旭神経内科リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援事業	○重複障害（元来持っている精神疾患や発達障害などに加えて高次脳機能障害を併発された方）への支援。	7障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉事業課 地域生活支援班	○入所・地域		区分①発達障害のある人が可能な限り身近な地域で必要な支援が受けられるよう、千葉県発達障害者支援センター（CAS）を拠点として、市町村・事業所等のバックアップや専門性の高い人材の養成を目的とした研修等を行うとともに、地域支援マネージャーの配置などを含めた地域支援機能の強化等について発達障害者支援地域協議会において協議します。



NO	団体名 委員氏名	第六次千葉県障害者計画に期待すること 本部会、入所部会委員御意見・提案等	「第六次計画に期待すること」の、「第五次計画」での関係施策	意見等の 関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①「内閣府障害者基本計画案」に施策の位置付けがある。 ②「厚生労働省障害福祉計画基本指針」に施策の位置付がある。 ③「第五次千葉県障害者計画」に位置付があり継続すべき施策。 ④議会答弁や団体要望の回答などで「県として取組むこととしている。」 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を専門部会で検討。	第六次千葉県障害者計画「取組みの方向性」に位置付けることを検討するための方針等【区分】 ①位置付けを検討する。（取組みの方向性案） ②計画への書込みはしない。（対応の方針）
26	NPO千葉県精神障害者自立支援事業協会	○同一敷地内の人数制限やスプリンクラーの設置義務について、国への要望だけでなく、県で対応できる部分があれば対応して、グループホームを作りやすくしてほしい。地域の特色に合わせて、足りないものを補う積極的なインセンティブを。	1 入所施設から地域生活への移行の推進（1）グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉事業課 事業支援班	○入所・地域		区分②グループホームの趣旨や利用者の安全等に配慮しながら、平成30年度の報酬改定に向けた検討状況を踏まえ、必要な対応を検討してまいります。グループホーム支援ワーカーの設置など、独自の取組みによりグループホームの整備に取り組んでいるところです。また、法改正により新たにスプリンクラーの設置が義務化されたグループホームに対しては、県独自の補助制度により事業者を支援したところ です。
29	東葛失語症友の会	○高次脳機能障害発症後の適切なリハビリや社会復帰の場の開設を奨励することが必要。短期間の医療系リハビリや、維持的ケア中心のデイケアでは不完全。前向きに、機能改善、生き甲斐づくり、仲間づくり、家族のサポートを行うなど、公的には得られないものを補っている自主グループ活動への支援（長期継続活動の場の提供など）や広報を。	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進①	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画89頁	区分①第5次計画から引き続き、「各支援拠点機関を中心に、高次脳機能障害に対する普及啓発を行い、早期に専門的な相談支援・訓練に繋がるようにするとともに、支援者の育成や地域連携の拡大・強化に取り組めます。また、地域生活の安定や就労定着に繋がるよう、支援の方法等について検討します。」
30	東葛失語症友の会	○医療によるリハビリ期間を修了した高次脳機能障害者に対し、過剰な保護、介護により、障害のある人の自立心や意欲、回復し得る機能を低下させる例が少なくない。前を向いて努力・向上し、生き甲斐を持って生きる、社会参加する、といった目的を持った生活の支援・介助が必要。	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実、（2）地域の支援施設のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進①	障害者福祉推進課 精神保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画89頁	区分①第5次計画から引き続き、「各支援拠点機関を中心に、高次脳機能障害に対する普及啓発を行い、早期に専門的な相談支援・訓練に繋がるようにするとともに、支援者の育成や地域連携の拡大・強化に取り組めます。また、地域生活の安定や就労定着に繋がるよう、支援の方法等について検討します。」
31	千葉県身体障害者施設協議会	○グループホームの夜間加算を手厚くするなど、人員配置や経営の問題を改善してほしい。	1 入所施設から地域生活への移行の推進（1）グループホームの整備促進と質的向上③「・・・手厚い人員配置を行うグループホームに対して、実態に即した報酬体系となるよう、加算制度の拡充などを国へ要望します」	障害福祉事業課 事業支援班	○入所・地域	③県障害者計画27頁	区分①第5次計画から引き続き、加算制度の拡充などを国へ要望する旨の記載をしています。
33	千葉県身体障害者施設協議会	○地域移行を推進するにあたり、バリアフリー化を進めてほしい。	8 その他各視点から取り組むべき事項（5）住まいとまちづくりに関する支援-公②	都市計画課 建築指導課 健康福祉指導課 道路整備課 道路環境課	○入所・地域	③県障害者計画106頁	区分①新たに、道路のバリアフリー化や福祉タグジーの導入支援について取組に記載しました。
34	千葉県身体障害者施設協議会	○入所施設についても必要な数は確保してほしい。	1 入所施設から地域生活への移行の推進	障害福祉事業課 事業支援班	○入所・地域	③県障害者計画28頁	区分①計画の指標における施設入所者数については、平成28年度末時点の施設入所者数と施設待機者等の地域の実情を踏まえて決定しました。
35	千葉県身体障害者施設協議会	○千葉リハビリテーションセンターに障害者の専門機関になってほしい。障害者の終末期を担う役割はどうか。	1 入所施設から地域生活への移行の推進（6）県立施設のあり方 千葉リハビリテーションセンター	障害福祉事業課 県立施設改革班	○入所・地域	③県障害者計画39頁	区分①千葉リハビリテーションセンターは、引き続き、県立施設として、重症心身障害の状態にある人（子どもを含む）、また脊髄損傷、高次脳機能障害等の重度の障害のある人に対し、民間施設では対応が難しい高度な医療的ケアから、リハビリテーション、社会復帰に向けた就労支援等の福祉的支援に至るまでの総合的な機能を担います。また、県内の民間リハビリテーション施設に対して技術的な助言や医師の派遣等の支援を行うなど、中核的センターとしての役割も担います。千葉リハビリテーションセンターが、こうした県立施設としての機能・役割を果たし、増加する県民ニーズにこたえるためには、高度な医療的ケアが必要な利用者のための医療機能や個々の障害の状態に対応したリハビリ訓練機能の充実などが求められます。このため、施設の整備方針について関係機関や有識者等の意見を聞きながら検討を行い、県民からの高いニーズに対応できる施設の整備に取り組めます。

NO	団体名 委員氏名	第六次千葉県障害者計画に期待すること 本部会、入所部会委員御意見・提案等	「第六次計画に期待すること」の、「第五次計画」での関係施策	意見等の 関係課	担当 専門部会	第六次計画位置付の視点 ①「内閣府障害者基本計画案」に施策の位置付けがある。 ②「厚生労働省障害福祉計画基本指針」に施策の位置付けがある。 ③「第五次千葉県障害者計画」に位置付があり継続すべき施策。 ④議会答弁や団体要望の回答などで「県として取組むこととしている。」 ①から④に該当するものは「取組みの方向性への位置付」を専門部会で検討。	第六次千葉県障害者計画「取組みの方向性」に位置付けることを検討するための方針等【区分】 ①位置付けを検討する。（取組みの方向性案） ②計画への書込みはしない。（対応の方針）
36	千葉県身体障害者施設協議会	○高度な医療が必要な障害者は県の施設で受け入れられるように施設の拡充を図ってほしい。	1入所施設から地域生活への移行の推進（6）県立施設のあり方 千葉リハビリテーションセンター①「・・・ニーズに十分に对应できるよう、機能の強化について検討します」②「・・・ニーズに十分に对应できるよう・・・施設整備のあり方を検討します」	障害福祉事業課 県立施設改革班	○入所・地域	③県障害者計画39頁	同上
39	千葉県身体障害者施設協議会	○医療行為が必要な障害者のために看護婦を増やしてほしい。	8その他各視点から取り組むべき事項（1）人材の確保・定着④「医師・看護職員の人材の確保について、養成力の強化・・・を推進していきます。」	医療整備課	○入所・地域		平成28年度ヒアリングNo.68で同種意見整理済み（区分②）
40	一般社団法人千葉県障害者スポーツ協会	○東京パラリンピックに向けての選手への支援は、障害者スポーツの振興を図るため、東京パラリンピック終了後も継続させることが必要です。	8その他各視点から取り組むべき事項（4）スポーツと文化活動に対する支援①	障害者福祉推進課 障害保健福祉推進班	○入所・地域		区分②東京パラリンピック後の選手への支援等については、第6次計画には反映しないが、検討していく。
41	一般社団法人千葉県障害者スポーツ協会	○障害者団体の連携や障害者スポーツ選手の養成、選手の育成支援も、障害者スポーツの振興に不可欠なので今後とも継続する必要があります。	8その他各視点から取り組むべき事項（4）スポーツと文化活動に対する支援①	障害者福祉推進課 障害保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画104頁	区分①計画Ⅱ取組の方向性①のどおり反映予定
42	一般社団法人千葉県障害者スポーツ協会	○スポーツに取り組む障害者が、障害者スポーツ指導者（支援者）のネットワークを通じて、地域で活動している支援者から気軽に支援を受けられるような仕組みが必要です。	8その他各視点から取り組むべき事項（4）スポーツと文化活動に対する支援④「障害のある人が、気軽にスポーツ指導を受けることができるよう、・・・登録情報のホームページでの発信など、・・・」	障害者福祉推進課 障害保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画105頁	区分①計画Ⅱ取組の方向性④のどおり反映予定
43	一般社団法人千葉県障害者スポーツ協会	○体験型プログラムを通じて、障害者がスポーツに気軽に接する機会ができるようにする必要があります。	8その他各視点から取り組むべき事項（4）スポーツと文化活動に対する支援①	障害者福祉推進課 障害保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画104頁	区分①計画Ⅱ取組の方向性①のどおり反映予定
46	NPO法人NECST	地域活動支援センターについて、市町村事業ではありませんが、地域で暮らす障害者を支援するためには内容の充実を図る必要があります。それには県としての設置基準（例えば人口に依じての箇所数、1型の設置義務など）と補助制度の整備に取り組む必要があります。	1入所施設から地域生活への移行の推進（2）日中活動の場の充実④「・・・県独自の補助制度の見直しを検討し、地域活動支援センターの充実に向けた支援を行います。」	障害福祉事業課 地域生活支援班	○入所・地域	③県障害者計画30ページ	区分①5次計画から引き続き、地域活動支援センターの実態把握を踏まえ、障害のある人が特性に応じた支援を受けられるよう、実施主体である市町村と協議しながら、県独自の補助制度の見直しを検討し、地域活動支援センターの充実に向けた支援を行います。
58	公益社団法人日本オストミー協会	オストメイト対応トイレを増やしてほしい。	8その他各視点から取り組むべき事項（5）住まいとまちづくりに関する支援	障害者福祉推進課 共生社会推進室 障害保健福祉推進班	○入所・地域	③県障害者計画107頁、108頁	区分①計画においては「多機能型トイレ」の記述で取り組みを記載しています。また、今後市町村に対してオストメイト対応トイレの設置についてについて働き掛けることとしています。
59	公益社団法人日本オストミー協会	災害時のためにオストメイト対応仮設用トイレの備蓄をお願いしたい。	8その他各視点から取り組むべき事項（6）くらしの安全・安心に関する支援②	障害者福祉推進課 共生社会推進室 障害保健福祉推進班 防災政策課	○入所・地域	③県障害者計画113頁	区分②現行の内容に修正なし。 （既に「災害時における避難所運営の手引き」及び「災害時における要配慮者及び避難行動要支援者の避難支援の手引き」の中で周知しています。）
60	公益社団法人日本オストミー協会	災害時のために装具の保管や備蓄をお願いしたい。	8その他各視点から取り組むべき事項（6）くらしの安全・安心に関する支援②	障害者福祉推進課 共生社会推進室 障害保健福祉推進班 防災政策課	○入所・地域	③県障害者計画113頁	区分②現行の内容に修正なし。 （既に「災害時における避難所運営の手引き」及び「災害時における要配慮者及び避難行動要支援者の避難支援の手引き」の中で周知しています。）